

The Marian

京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報

vol. 42
2012.4

同窓会館「マリアンハウス」

大学キャンパス内キャロライン館へ



玄関



玄関ホール



正門よりキャロライン館を望む

Contents

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 01 目次 | 12 地区だより |
| 02 会長挨拶/本部役員紹介/規約改正後表記 | 13 同期会報告 |
| 03 ご挨拶 名誉顧問 顧問 | 14 同期会、ゼミ集い報告 |
| 04 第47回総会報告 | 15 東日本震災 同窓生報告 |
| 05 活動報告 | 東北地区同窓会設立に向けて |
| 06 活動報告 | 16 クラスアクティビティー案内 |
| 07 会計報告 | 17 マリアンハウスアクティビティー案内 |
| 08 マリアンハウス移転報告 | 18 大学だより |
| 09 留学生日帰りツアー | 19 第48回総会案内 祝周年 |
| 10 支部だより | 20 マリアンハウス使用規定 |
| 11 地区だより | |

一同窓の『絆』に 思いを馳せてー



会長 中井 恭子 (12E)

同窓会会員の皆様、2012年の春をいかがお過ごしでいらっしゃいますか。去る2011年の今年の漢字に『絆』が選ばれました。辞典に「[絆]断ちがたい人と人とのつながり」とあります。私達は同じ学び舎に学んだというだけの共通の認識のもとで、たとえ初対面であっても世代を越えて急速に親しく、旧知の友となります。

3.11の東日本大震災の時には、「被災地の同窓生はご無事だろうか…？」と会員の皆様は、きっと思われたことでしょう。幸い今のところ、この震災による同窓生の訃報は本部に届いておりません。それどころか、この震災をきっかけに東北在住の同窓生と連絡を取り合ううちに、仙台を中心に東北地区同窓会が設立の運びとなりました。どうぞ本誌「地区だより」P.15をご覧ください。

さて、私たちが誇りとするノートルダムスピリットの特徴の1つに、「他を思いやる心」があると思います。昨年12月に母校北山キャンパス内に誕生した新マリアンハウスでは、今後もこの精神を糧として、マリア様の慈愛に満ちたご加護のもとに、近隣の方々、恩師の先生方、シスター方、後輩である在校生、同じ屋根の下の寮生たちとの交流や活動を通して、さらに強い『絆』を築いて参りたいと決意を新たにしております。

また、全国に広がる支部や地区同窓会会員の皆様には、各地域で一層活発な同窓会活動のための支援への強いご要望に、十分お応え出来るように、地区補助規定等の見直しを含め、目下、良策を鋭意検討している

ところです。

昨年、母校が創立50周年を迎えられましたので、同窓会も3年後には、創立50周年を迎えるということになります。この記念事業として、同窓の『絆』を断ち切らないために、同窓会会員名簿の編纂と発行を考えております。私たちの会員名簿は、2000年度版から発行が途切れ、この10年余りの間、37期卒から48期卒までの卒業生の名簿が手元にないこと、又、36期卒までの名簿にも大幅な変動があり、2000年度版ではもはやとても用を成さないからです。最新の名簿が、同窓会創立50周年を祝う学年会や地区会の開催に向けて貴重な手引きとして、お役に立つことを心より願っております。

最後になりましたが、母校創立50周年記念募金へのご協力、誠に有難うございます。この活動は平成27年3月まで続きますので、引き続き宜しくお願い致します。どうぞ本誌同封の振込用紙等をご利用下さいませ。では、来る5月27日(日)第48回総会で、一人でも多くの会員の皆様と同窓の『絆』を確かめ、再会の喜びを分かち合えますことを楽しみに、役員一同、ご参加をお待ち申し上げます。

感謝を込めて、ご挨拶まで。

【平成 24 年度本部役員】

会長	中井 恭子	12E (塚 本)
副会長	芝山 陽子	5E (芝 山)
	瀧井 優子	23C (藤 井)
会計	大島 美映	22E (中 西)
	阪倉 也子	22E (古 市)
書記	山下 郁子	21E (尾 崎)
	中小路理恵	21C (竹 原)
庶務 (広報)	高木 里美	3E (小 坪)
	家村 悦子	4E (上登野)
庶務 (名簿)	西岡由美子	12E (西 岡)
	北澤みよ子	12C (山 田)
マリアンハウス運営委員会	山田 恵子	12E (村 岡)
	北谷貴代子	23C (堀 部)
会計監査	堀野 倫子	22E (中 村)

同窓会規約改正後の表記について

平成22年、平成23年の総会で規約改正案が提出され、承認されました。

承認事項 平成22年 ・奨学金は貸与から給付に変更する。

平成23年 ・平成23年度卒業生から大学院卒業生も同窓会へ参加できる。

・マリアンハウスが移転するにあたり、事務局の住所が変更になる。

訂正後の表記は次の通りとなります。

第1章 総則

第2条 本会の本部を京都市左京区下鴨南野々神町1番地京都ノートルダム女子大学に置く。事務局を同じく京都市左京区下鴨南野々神町1番地京都ノートルダム女子大学内マリアンハウス(同窓会館)に置く。

第4条 本会の会員は京都ノートルダム女子大学及び同大学院卒業生とする。ただし、大学もしくは大学院中退者で入会を希望する者は、役員会の承認を得て会員とすることができる。

第5条 会費は終身会費制とし、会員は会費を大学もしくは大学院卒業時(大学・大学院中退者会員は入会時)に納入するものとする。

第2章

第2条 3 奨学金の給付

第3章

第6条 本部役員は本大学もしくは大学院卒業会員の中から選出し、総会の承認を得て就任するものとする。

「ご挨拶」



学 長 藪内 稔
名誉顧問

平成23年12月10日、京都ノートルダム女子大学創立50周年記念式典を挙行了いたしました。本学50年の歩みの中で、創立・創成、発展のために惜しみないご支援を頂きました各界各層のすべての皆様に深く感謝申し上げます。この機会に、今一度、卒業生の皆様とともに、創立原点に思いを馳せ、本学に与えられたミッションと建学の精神を再認識したく思います。

創立50周年記念事業として「北山キャンパス総合整備計画」の着工がありますが、おかげさまで、京都工芸繊維大学キャンパス内の「ノートルダム館」完成、「キャロライン館」竣工に続き、新本館である「ユニテリア館」の基本設計がほぼ終わり、施工業者も無事決定して、順調に進行しつつあります。これもひとえに、50周年記念事業を支えてくださっている同窓会・卒業生の皆様方の並々なぬ母校に対する愛情の賜物であると、教職員一同、感謝しています。また、大学が50周年記念事業として取り組んでいる募金事業では、同窓会・卒業生の皆様には、趣意にご賛同いただき、多大のご寄付を賜りまして誠に感謝に堪えません。

学長就任以来、本部総会をはじめ各支部・地区の同窓会にお招きを頂きましたが、そのたびに、卒業された皆様方の、母校に対する愛情と慈しみの心、想いの丈に強く心を動かされました。これも50年の大学の歴史の中にあって、教職員と卒業生、在校生が一体となって、育み培ってきた『ノートルダム精神』が基底にあつてのことであると銘記し、大学を預かる責任の重さを再認識し、決意を新たにしていまいりました。

さて、「キャロライン館」は、多目的教育・地域連携・人的交流の諸事業を推進する施設であります。授業・演習などをはじめ、多目的に利用できるアセンブリホールを中心に、教育寮としての学内寮、卒業生の皆様が利用される同窓会館、またキャンパスミニストリー室等が含まれる複合教育施設であります。同窓会の皆様には、「キャロライン館」での同窓会活動を通して、従来に増して、本学の建学の精神に基づく各種の社会・地域支援に貢献され、交流を深めていただくなかで、寮生や在学生の生活面や接遇マナーなどのご指導をお願いできれば、と思っています。先輩卒業生という立場からの厳しくも温かいご指導は、教職員にはない心の通った教育効果が大いに期待できます。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

「ごあいさつ」



英語英文学科教授
顧問 須川いずみ

みなさま、こんにちは。この度京都ノートルダム女子大学同窓会顧問を拝命いたしました須川いずみでございます。現在英語英文学科の学科長を務めております。研究分野は英文学で特にジェイムズ・ジョイスと映画学でございます。今までの歴代同窓会顧問は奇しくも全員私の恩師でいらっしゃいます。私はシスターメリーセリーン松本のゼミ生でしたし、シスターベルナルド岩井には女学院で、東朝子先生にも大学で教えていただいております。つまり私自身が卒業生ですので、常に卒業生の目線で大学とのパイプ役を務められたらと思いこのお仕事をお引き受けした次第です。今までの顧問の皆様のようにできるか不安もございますが、微力ながら、一生懸命頑張りますので、お力添えを賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

大学も早50周年を迎え、卒業生の数も1万3,000人ほどになり、私共の時代のようにシスターや先生方の厳しいけれど深い愛情で見守られ、学生にとってアットホームなノートルダムも時代と共に随分様変わりしつつあります。シスターがほとんどいらっしゃらなくなり、学生自身も就職を含めて現代的問題に晒されることが多くなってきています。女子大学という大学の形態を取り巻く環境も年々厳しさを増しています。しかし、この度北山キャンパス内の一番目の新校舎であるキャロライン館の一部に同窓会が入ったことで、同窓会が俄然学生にとって身近な存在になったことは間違いありません。これからは、同窓生同士はもちろですが、学生との交流も図れるのではと期待しております。学生は同窓会予備軍ですので、卒業前から同窓会に親しみを持ってもらうことは大いに意義があります。また地方から家族と離れて寂しい思いをしている学生もいます。彼女らにとっては、大人と話せるいい機会になるでしょう。寮生でなくとも、学生にとって年齢や立場を超えてコミュニケーションをとることは一番勉強になります。同窓会には仕事や子育てのベテランの方々が沢山いらっしゃるわけですから、学生に教えて頂けることも多いのではないかと思います。色々なかたちで同窓会のお力をお借りしたいと心から願っております。

前顧問東朝子先生のご退職に伴い、新たに須川いずみ先生に顧問をお願いいたしました。

第47回総会報告 祝周年学年の皆様おめでとうございます。



平成23年5月22日（日）第47回総会がグランドプリンスホテル京都にて開催され、学長、副学長はじめ理事長、シスター、先生方をお迎えして総勢約110名が集いました。

総会では以下の事項について承認を得ました。

- ① 平成23年度卒業生から、大学院卒業生も同窓会へ参加できる。
- ② マリアンハウスが移転するに当たり、住所が変更する。
- ③ それらに伴い規約の改正をする。

以上

懇親会担当、17期生の皆様有難うございました。

17期卒の私達にとって、第47回同窓会懇親会の担当は10年前に前任委員が担当したはずであったので想定外の2回目でありましたが、タイミングよく大学創立50周年目であったことと同時に私達が卒業30年目であったことが何よりも喜ばしいことでした。そして、どんなに長い年月ぶりであっても共有できる素晴らしい思い出がたくさんあることに素直に喜びあえる場となり、年を重ねた年々の親交を新たに確認できた嬉しいばかりの日となりました。大先輩から同期仲間や後輩に会えることが楽しみである私にとって、年々老いていく中で母校同窓会は大事なコミュニティーの一つになっています。同窓会室が大学新校舎内に設置され、これからは大学との連携をとりながらますますの大学の発展をお祈りするばかりです。

山西令子（17E）

この度は、卒業30周年を祝って頂きありがとうございました。久しぶりに会えた懐かしい皆と、素敵な音楽や美味しいお料理と共に楽しい一時を過ごす事が出来、本当に良かったと思います。役員の皆様にも、色々お世話になりありがとうございました。

松岡洋子（17E）

卒業して早、30年。会場の席に着くや否や懐かしい顔々。お互いの近況を話しながらも飛び交うあだ名で私たちはすぐに学生にもどりました。学生の時に教えて頂いた先生もお見えで以前と変わらないなあ、とあの頃の自分を思い出しました。本当に楽しい1日でした。また会おうねと約束して散会しました。大学も創立50周年を迎えた新たにキャンパスが完成するとお聞きし益々大学が発展しますように祈るばかりです。

片岡温子（17C）



大学創立50周年というおめでたい年の学年委員と言う事で、緊張して当日を迎えましたが久しぶりに逢う友達の笑顔で、学生時代にタイムスリップしたように楽しい一時を過ごす事ができました。本部や支部の方々のお仕事の大変さを改めて知り感謝しております。本当に有り難う御座いました。

弘部 裕美（17C）

平成23年度 活動報告

- 5月** 第47回総会(グランドプリンスホテル京都)
関東、中部支部委員との合同ミーティング
国際交流マリアン奨学基金より留学生に奨学金授与
各クラス春季開講
- 6月** 日文研 養源院見学
※パールアクセサリー作り
- 7月** 歴代会長会
合同懇談会(大学、歴代会長、学年委員、クラスアクティビティー責任者、マリアンスタッフ、本部役員)
- 9月** 各クラス秋季開講
ノートルダムファミリーコンサート参加
日文研 源氏香体験
※チャリティバザー作品作り
- 10月** 震災復興チャリティバザー(於大学ガイスラー館)
- 11月** 岩倉マリアンハウスお別れ会
小学校、中高、大学三校同窓会合同委員会
留学生日帰りツアー(鞍馬貴船方面)
山陽地区同窓会出席
関東支部同窓会出席
和歌山地区同窓会出席
物故者追悼ミサ参列
キャロライン館竣工式参列
日文研 お茶会(大徳寺)
※カルトナーージュ
- 12月** 新マリアンハウスへの引っ越し
大学創立50周年記念式典参加
ホームカミング
新マリアンハウスお披露目
ノートルダムクリスマス参加
- 1月** 各クラス冬季開講
日文研 新年会(栗田山荘)
- 2月** 故渡邊純名誉教授追悼ミサ
- 3月** 同窓会新入会員への説明会
第48回大学卒業式列席
歴代会長会
三校同窓会合同委員会
日文研 時絵螺鈿体験
※和菓子作り
- 4月** 会報「マリアン」42号発行
平成24年度大学入学式列席
※痩せるエクササイズ
※はマリアンハウス文化プログラム



合同懇談会

23年7月23日(土) 大学ユージニア館別館のフレンドシップハウスで開催された。この会合は2年に一度、役員交替時に開かれる。

学長・理事長のご臨席を頂き、本部役員、学年委員、クラスアクティビティ責任者、歴代会長、マリアンハウススタッフなどの45名の参加があった。

会長から卒業生一人ひとりが「このような同窓会のある大学で学べて良かった」と感じて下さる同窓会にしたいと願っているという内容の挨拶があり、続いて本年度の行事確認や活動の案内と報告があった。

午後から出席者から出されたアンケートに基づき意見交換会が行われ、今後の合同委員会の持ち方、学年委員のあり方等、問題点が活発に出された。



キャロライン館竣工式

23年11月19日(土) 大学キャロライン館で竣工式が挙行された。この1階に入る同窓会館マリアンハウスも同時竣工となり、ノートルダム女学院理事長和田環様へお祝とお礼の気持ちを込めて、同窓会から目録(金一封100万円)を贈呈した。



ホームカミングデー

23年12月10日(土) 大学ユニソン会館大ホールにて、大学主催によるホームカミングデーが開催された。同日午前には大学創立50周年記念式典及び懇親会が開かれ、多くの懐かしい恩師や卒業生が集う楽しい一日となった。

同窓会から創立50周年のお祝い目録(金一封3,000万円)を藪内稔学長にお渡しした。

訃 報

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

渡邊 純 名誉教授 2011年 9月 5日
安田 多賀子様 (16E) 2002年10月29日
北出 春美 様 (14E) 2011年 1月 9日
中村 苑子 様 (3E) 2011年 3月23日
浦谷 文代 様 (3E) 2011年 3月25日
高林 信子 様 (6E) 2011年 5月13日

福井 悦子 様 (1E) 2011年 7月
河智 泰子 様 (1E) 2011年10月 7日
山本 遥子 様 (8E) 2011年12月 1日
辻 美智子 様 (4E) 2011年12月 4日
佐藤 潤子 様 (6C) 2011年

ノートルダムファミリーコンサート報告

2011年9月3日 京都コンサートホール

実行委員 吉川みづほ (1E)



2005年に同窓会有志によって母校への感謝を表す為に開催されたコンサートは今回第3回を迎えました。小学校、中高、大学の在校生、同窓生、保護者、教職員の協力のもと、音楽を通して三校の発展を願い、ファミリーとして互いの絆を広げ、世に愛を伝えたいという想いがこのコンサートには溢れています。

当日は台風12号襲来の為、生徒達には警報が発令されて、残念ながら中学高校のオーケストラクラブによる演奏、また、夏に行われた小学校コーラスコンクールで京都代表に選

ばれた小学校のコーラス演奏は中止となりました。しかし、プロとして活躍する同窓生のすばらしい演奏とファミリーによって編成された混声合唱団の歌声、そして三校の校歌合唱を楽しんで頂き、コンサートの精神を充分に感じて頂きました。

尚、当日中止となったオーケストラクラブによる曲目は12月19日に大学で開催されたノートルダムクリスマスで演奏され、更に磨きのかかった腕前がクリスマスの雰囲気盛り上げました。

収益金(768,972円)は東日本大震災支援とネパールでの教育活動の為に寄付されました。



絆、つながる、つなげる — 祈りの心

シスタールイズ 安井昌子 (3E)
ND 教育修道女会地区長

「わたしはぶどうの木あなた方は枝である。ぶどうの枝が木につながっていなければ、自分では実を結ぶことができない。人が私につながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなた方は何もできないからである。」(ヨハネの福音書：15章5～6節)
これはキリストの御言葉です。



京都の神社・仏閣を訪れると、境内の木に白い紙が花の如く、結び合わされているのが目に留まります。それは、老若男女問わず、多くの人々の人知れない願い事、望みが祈りとして、木に結わいつけられているのです。合格祈願、家内安全、立身出世、世界平和等、人生の節目に当たる祈念でしょうか。

修道院では、毎日、卒業生、在校生、保護者、教職員、恩人友人を心に留め、日々の祝福や、幸せを祈念します。心からの願いを込めて、命の源泉であるキリストの木に祈りの形で結び付けていきます。存在の深いところで生活の方向付けができるようにと祈りゆだねていきます。

一方、自分自身において、日常茶飯事での出来事、人間関係から来る軋轢や、問題なども、人知を超えた創造主(神)に結び合わせていくことができます。

誰しも、周りの評価に一喜一憂して、すぐ落ち込んだり、有頂天になったりして、心の安らぎを取り乱してしまうのです。以上でも以下でもない私であることを忘れて。

自分で生きているようだけれども、水も、空気も太陽も、木の葉一枚も作れない存在であることを意識し、私につながっていないさいというキリストの命への呼びかけを日々新たに、自分らしく実を結んでいきたいものです。

会計報告

京都ノートルダム女子大学同窓会 平成22年度会計報告

自：平成22年4月 1日
至：平成23年3月31日

収 支 報 告

収入の部		支出の部		
費 目	決 算 額	費 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	65,510,247	総 会 費	1,000,000	588,207
終身会費	10,500,000	マリアンスカラシップ	1,000,000	1,000,000
預金利息	57,970	マリアン発行費	3,000,000	2,268,026
マリアンスカラシップ返済金	452,090	卒業記念費	1,000,000	841,575
クラスアクティビティ受講料	247,000	クラスアクティビティ	1,200,000	870,000
雑収入	59,526	支部・地区活動 援助費	800,000	367,700
		同期会補助	200,000	20,000
		会 議 費	500,000	216,763
		交 際 費	500,000	303,580
		通 信 費	350,000	171,855
		事 務 費	150,000	101,137
		マリアンハウス運営費	2,400,000	1,713,745
		予 備 費	100,000	38,515
		小 計	12,150,000	8,501,103
		残 高		68,325,730
合 計	76,826,833	合 計		76,826,833

上記の通り決算報告
申し上げます。

会計 麻田佳代
堀野倫子



本決算を審査の結果、
収入支出いずれも適正
であることを認めます。

会計監査 林満智子
平成23年4月13日

臨時会計報告

キャロライン館竣工式お祝い金 ￥1,000,000
新マリアンハウス追加工事代金 ￥3,691,800
創立50周年お祝い金 ￥30,000,000

マリアンスカラシップ

平成23年度は申請者の学費充当の為に100
万円を給付しました。
(選考・分配は学生課に一任)

寄付金の贈り先と額 (平成23年4月～24年2月)

平成23・5 ネパールノートルダム教育修道会 ￥100,000
ラリグランスを通してネパールの恵まれない人々のために
￥50,000
平成23・12 NDクリスマス献金 ￥10,000
平成24・2 東北震災復興支援・ND学生ボランティア
活動支援募金協力金 ￥100,000

チャリティーバザー、手芸ボランティア活動による収益金に加えて
有志の皆様のご寄付によるものです。有難うございました。

国際交流マリアン奨学金

包花さん(中国)人間文化学科2年次生に平
成23年5月22日同窓会総会において奨学
金¥120,000を授与しました。

奨学基金のお願い

奨学基金は現在奨学金、12万円を1名に、また留
学生ツアーに使わせていただいています。

留学生が将来、日本と母校の架け橋となられる
ことを期待してできる限り支援を続けたいと思
いますので皆様のご協力をお願い致します。

右記の専用口座に一口1,000円でお心のままに
お振込み下さい。同封の振込取扱票をご利用いた
だきますと手数料が不要です。

今後個人にお礼状をお出ししませんので会報マ
リアンでご確認下さいますようお願いいたします。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	099
店名(カナ)	0九九店(ゼロキユウキユウ店)
預金種目	当座
口座番号	0305135
カナ氏名(注) (受取人名)	キョウトノートルダムジョシダイガク ドウソウカイ

※今年度より口座が変わります。

・平成23年度国際交流マリアン奨学金協力者
・平成23年4月～24年2月末日までに総額29,880円のご寄付を
・頂きました。有難うございました。

・美山千代子 牧由喜江 水谷訓子 家村悦子 大島美映
・阪倉也子 (敬称略)

ご案内 「シスターサマー 英語プログラム」 どなたも歓迎です！

日程：平成24年7月2日～13日(予定)

シスターメリー・ホープとシスタークリスチャンがアメリカより来日して担当されます。
細かい日程が決まり次第、同窓会ホームページに掲載いたします。



平成23年11月9日、「マリアンハウスお別れ会」が催されました。平成4年から19年間、同窓会活動の拠点としての役目を果たし、お別れ会に参加して下さった大学関係者、シスター方、数十名の同窓生に惜しまれながら、その日「マリアンハウス」は誇らしく、優雅に、そして堂々とした姿を、見る人の目に焼き付けているかのように思えました。



お別れ会ではさまざまな思い出が語られました。この家でどれほどたくさんの新しい出会いが生まれ、温かい交流が育まれたことか、また多岐にわたるプログラムに参加して、如何に楽しく稔り豊かな時間を過ごしたかなど、それぞれが懐かしくふり返り、皆で思い出を分かち合いました。惜別の想いはありますが、これも同窓会のさらなる発展につながる節目の一つと考えて、一同心をこめて感謝の祈りをささげ、岩倉の「マリアンハ



さて、われらが「マリアンハウス」はこのたび母校のキャンパスに“ホームカミング”いたしました。大学の創立50周年記念事業の一環として新築された、学生寮などを含む複合教育施設「キャロライン館」の一階東部分に移転したのです。建築費は大学負担で、私たちの要望に応じて、専用の入り口と独立したスペースが確保されています。新「マリアンハウス」はいわば岩倉の「マリアンハウス」の“生まれ変わり”のような上質の仕様で、ほとんど同じ面積でよく似た雰囲気の漂う親しみやすい空間となっております。

先に述べたお別れの会で、Sr.セリーンが「貴方たちはマリアンハウス、すなわちマリアの家の娘なのですよ・・・」と話されました。そうなのです。私たちには、マリアの娘としていつでも「マリアンハウス」に里帰りして、同じマリアの娘たちと会い、話し、笑い、歌い、学び、働き、ときには共に悲しみ、慰め、癒し合う、そのような場所が用意されているのです。母校のキャンパスにあるこの同窓会館「マリアンハウス」が、たくさんの同窓生を引き寄せ、いつも何か新鮮なインスピレーションを与えてくれる魅力のある“マリアの娘たちの家”となりますようにと願っています。

マリアンハウスお別れ会 プログラム

平成23年11月9日

開会 聖歌「あめのきさき」 指揮：東 朝子先生 伴奏：Sr.ベルナルド岩井

ご挨拶 同窓会長 中井恭子

茶話会

おはなし ・ 建設に至るまで 同窓会館建設委員長 中島克子

新旧マリアンハウススライド上映

・諸活動のはじめ 出席者

思い出話 〃

・マリアンハウスの生い立ち 初代同窓会顧問 Sr.セリーン松本

祈り Sr.セリーン松本

みんなで歌いましょう 「赤とんぼ」 「ふるさと」

閉会 学歌斉唱 Notre Dame Women's College Song Sr. Mary Eugenia Laker 作詞

Sr. Mary Helen Fillenz 作曲

お別れ会発起人 中島克子 (1E) 吉川みづほ (1E) 本多ゆり (2E)

神よ、あなただけの愛をいつくしみて
わたしの心をみだして下さい。

モリアンハウス（1992～2011）

Alba 16

ELSEVIER

国際交流マリアン奨学基金 「第9回留学生のための日帰りツアー」

庶務 西岡由美子 北澤みよ子

2011年11月27日（日）留学生19名、役員11名が参加。雲ひとつない秋空の晴天。ちょっと前にテレビで京都穴場ベスト10の映えあるNo.1になったことが放映されたこともあり、それを留学生の皆さんに伝えとテンション一気に上がり、意気揚々と「紅葉列車」に乗り込みました。鞍馬寺の紅葉は真っ盛り、遠く故郷を離れている彼女達を最高のおもてなしで迎えたように思いました。

貴船といえば、「ひろや」さん。ここで昼食をいただきました。同窓の「絆」で大変ご協力くださり、混雑のツアーをスムーズに帰路につくことができました。

参加留学生の声

★本日のツアーで印象的だったこと

- ・ケーブルに乗るのがはじめてで一番印象に残りました。
- ・山が好きなので、山に連れて行ってくれたのは嬉しいことでした。
- ・電車に乗っていた時、すごく美しい紅葉を見たことです。
- ・京料理をいただいたことがすごく印象的でした。見た目も良くて、味も普通の料理より断然おいしかったです。インターネットで国の親に見せました。「よかったなあ」と言われました。
- ・鞍馬は遠くてなかなか行きづらい所ですが、今回のいい機会があつて鞍馬に行った事体が印象的でした。
- ・先輩方がガイドしながらお世話になったことがすごく印象に残っています。



★京都ノートルダム女子大学に留学して良かったこと

- ・学校も綺麗やし、京都という大好きな町に住めることをいつも「よかった」と思っています。
- ・学校の先生と友達が優しくて、それに同窓会の皆さんも優しくしてくれました。とても感動しました。
- ・キリスト教の大学であり、自分が勉強したい専門だけじゃなくて、神様のことも教えてもらってとてもいいことだと思っています。
- ・日本でいろんな国の留学生と知り合って日本語で交流できてよかったと思います。

★日本に住んで母国との違いについて感じる事



- ・日本人は季節感が強いと感じます。料理の材料や和菓子の種類や服装の色や行うイベントとお祭りなどは季節によって変わりますね。タイでは季節によって変わるものがあまりありません。
- ・日本では辛い食べ物がありありません。そして日本人は素直ではないということは母国と違います。
- ・日本と中国の考え方はよく違います。例えば日本人のあいまい言葉が多くて、よく分かりませんでした。
- ・みなさん、結構ゆっくりするイメージがありますが、考えてみたらそんなにゆっくりでもなさそうな気がしますね。韓国はなんでも「早く、早く」ですので、、その早くになれていた私は最初日本に来たときはなれなかったです。

★将来日本との関係をどのような形で保ちたいですか

- ・「世界はみんな家族だ」という偉いことは言えないですが、凡人だからみんなと友達みたいな形で保ちたいです。中国と日本人は自由に旅行できたり、貿易往来が出来たりしたいです。
- ・日本語を使う仕事で働きながら保ちたいです。
- ・日本の色々な文化も身につけたので、ガイドをしたり、日本の行事を母語で翻訳したり……。
- ・福祉関係がある仕事をしたいので、日本で学んだことを私の母国へ持ち帰って出来ることからやってみたいです。
- ・日本とマレーシアの架け橋になりたいです。



支部だより

関東支部

関東支部長 加藤 薫 (17E)

京都ノートルダム女子大学の同窓生の皆様お元気でいらっしゃいますか。

現在、約1,000名の会員がおります関東支部では昨年11月20日に九段グランドパレスにて関東支部同窓会を開催いたしました。

京都より学長の藪内稔先生、小林順先生、牛田好美先生、本部より中井恭子会長もご出席下さり多くの関東支部の会員の皆様と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

昨年は東北の震災のこともあり関東支部同窓会でも東北の会員の皆様に同窓会のお誘いをさせて

いただき、一名出席していただきました。遠く離れた関東の地で同窓の皆様とお会いできるのはとても幸せだと感じております。

私達17期は本年春までですが、次は18期の方々が運営して下さいます。

本部の皆様、並びに関東支部の同窓生の皆様二年間どうも有難うございました。



2012年度関東支部役員紹介 (18期)

支部長 福島 睦子 (福島)

副支部長 櫻井由紀恵 (豊島) 沖 康子 (井手) 溝上真紀子

書記 長田貴美子 (深田) 木下 明子 (嶋津) 宇平 知子 (落合)

会計 神崎 厚葉 (中村) 大堀アイ子 (小川)

中部支部

中部支部長 杉山 康代 (18C)

中部支部は、昨年度、同窓会のシステムを一新いたしました。そのご報告も兼ねた親睦会を11月名古屋にて開催いたしました。親睦会には中部支部同窓会を立ち上げて下さった1期生の初代支部長様はじめ35期生まで30名の幅広い年代の同窓生の皆さまに、ご参加頂き本当に楽しく充実した会を持つ事が出来ました。

そして、同窓会を続けて行く事の大切さや同窓会の運営をしっかりと申し送って行く事が、母校への力となる事を皆さまと再確認する事が出来ました。

また、この5月27日(日)の京都本部の総会では今年で30周年を迎える18期生が同窓会の幹事のお当番となり、また、関東支部と中部支部も18期生が役員となります。この素晴らしい機会に、少しでも多くの18期生の皆さまと集い旧交を温め、総会を一層盛り上げる事が出来たらと今から期待に胸ふくらませております。

尚、中部支部同窓会は本年11月、名古屋にて予定しています。



中部支部役員

支部長：杉山 康代 (18C)

副支部長：永易 恭子 (18E)

会計：高岡 貴子 (18C)

書記：加藤まさみ (25E)

会計監査：杉浦木綿子 (4E)

地区だより

北陸地区

高村隆子 (20E)

同窓生の皆様、昨年は大変な年となりましたがいかがお過ごしでしょうか。
 新たな年を迎え、今年はさらに多くの方に参加していただけるような北陸地区ND同窓会を企画したいと思っています。詳細が決まり次第お知らせいたしますので、住所等連絡先が変わっておられる方はお申し出ください。世代を越えて多くの方と京都とNDの思い出話に花を咲かせたいと思います。
 皆様 是非お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

北陸地区役員

地区長 高村 隆子 (山崎) (20E)
 役員 石田江三子 (青木) (21E)
 河合 裕子 (藤田) (13C)
 猪原千津子 (服部) (8E)
 住駒 禎子 (北) (3E)
 長谷川まゆみ (牧) (2E)

和歌山地区

道本 美月 (22E)

9月、同窓会の案内葉書の発送準備も整い、みなさんにお届けしようとした折に、和歌山県南部が台風12号の災害に遭いました。ご無事を祈りながら投函いたしましたが、お見舞いの言葉も添えずに送付しましたことをお許してください。

11月26日にアバローム紀の国で3年ぶり地区同窓会を開催したところ、京都からは藪内学長様、中井同窓会会長様、芝山副会長様、瀧井副会長様に遠路はるばる参加していただき、7期から27期まで総勢31名でにぎやかな会となりました。当日は好天に恵まれ、和歌山市が一望できるパノラマレストランで時を忘れ、みなさまと親交を深めることができました。今回は参加できなかったみなさんも次回はお目にかかれますように！



京都ノートルダム女子大学第3回和歌山地区同窓会 平成23年11月26日 於ホテルアバローム紀の国

道本美月 (22E) 中田かよ (22C) 高辻順子 (23E)
 笹井悦子 (23E) 稲家裕子 (23C)

山陽地区 (岡山、広島、山口)

和田真理子 (9E)

同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしですか。

1昨年山陽地区同窓会を開催する予定でしたが、都合で出来なくなり、2011年11月12日に山口市の新山口ターミナルホテルにて開催いたしました。日程や家庭の事情で参加できない方が多数で、参加者は六名でしたが、京都より副会長様二名出席いただきました。1回生より33回生まで、それぞれ自己紹介していただき、寄宿舍での楽しい思い出話に花が咲きました。あっという間にお開きの時間が迫り、名残惜しく次回は岡山での開催をお約束して解散しました。山陽地区発足以来、神足地区長にはたいそうお世話になりました。



2012年度より神原恵子様 (1E) に山陽地区長が引き継がれました。

神足 (6E) 和田 (9E) 山田 (12E) 藤川 (33E)

世話人 2012年～ 神原恵子 (1E)

九州・沖縄地区 九州・沖縄地区同窓会のお知らせ

坂本佳枝 (1C)

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。

紫陽花も色づき始めた昨年6月5日、佐賀ワシントンホテルプラザにて『九州・沖縄地区同窓会』を開催いたしました。第1期生から42期生まで、鹿児島、熊本をはじめ、長崎、福岡、佐賀より、計13名の方がお集まり下さいました。

懐かしいcollegesongの合唱で幕開けとなり、楽しく和やかな会食の後には佐賀城本丸歴史館へ。

明るく活き活きとご活躍されている素敵な先輩方と“ノートルダム”というひとつの絆で結ばれた大変有意義なひとときとなりました。ありがとうございました。

今回お出会いたみなさま、またこのたびは参加が叶わなかったみなさまもぜひ次回同窓会でお会いできる日を心待ちにしております。

石川敬子 (41E)



【同窓会支部・地区代表者】

関東支部 (東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木)	福島 睦子 (18E)
中部支部 (長野・三重・愛知・静岡・岐阜)	杉山 康代 (18C)
和歌山地区	道本 美月 (22E)
北陸地区 (富山・石川・福井)	高村 隆子 (20E)
山陽地区 (岡山・広島・山口)	神原 恵子 (1E)
山陰地区 (鳥取・島根)	桑原可菜子 (5E)
中国・四国地区	佐野 英子 (9E)
九州・沖縄地区	坂本 佳枝 (1C)

地区会開催への本部からの補助について

- * 地区同窓生名簿のコピーと住所シールの提供
 - * 通信費の実費 (上限2万円まで。但し、地区会の第1回目は実費を全額補助します。その後の補助は2年に一度以内に限りです。)
- 詳細はマリアンハウスまでお問い合わせ下さい。

みちくさ会

水谷訓子 (4E)

「みちくさ会」は母校の発展とNDファミリーの幸せを応援する会です。

昨年7月1日は特別企画としてNDファミリーと関係ある龍野のヒガシマル醤油工場等の見学会を開催しました。11月6日には第4回「みちくさ会」をホテルグランヴィア大阪 (参加者31名) にて開催し、京大名誉教授・近畿能力開発大学校長の家村浩和様に「直下地震・巨大地震にどう備えるか」と題してご講演頂きました。

伝統河内音頭継承者河内家菊水丸様には河内音頭やよもやま話を聴かせて頂きました。会員からご要望のありました「親による婚活」も昨年から始めました。NDの同窓生ならどなたでもお子様はじめ甥子、姪子様の登録 (無料) を随時受付けています。登録希望者はみちくさ会事務局水谷までご連絡下さい。登録用紙を送付します。

世話人 中野梅子 (3E) 櫻井美智子 (4E) 水谷訓子 (4E) 木村真紀子 (6C) 大井佳子 (7E)



同期会の報告

1期 同期会

秋晴れの下、10月16日就学50周年を祝し、ホテルグランヴィア京都にて、総勢40名が集まりました。恩師シスターセリーンをお招きし、遠方からの出席者も多く、卒業以来始めてお会いできた方々もいっしょに、懐かしい集いになりました。同期生によるおどりやピアノ連弾等楽しく和やかな一時を過ごすことができ、みんな熟年時代を大切に生きておられる姿が伺えました。最後に母校のある京都で再会を願い、「ふるさと」を歌って、閉会致しました。

坂上照代 西川和子



京都ノートルダム女子大学一期生同窓会 2011年10月16日 於 ホテルグランヴィア京都

2期 卒業45周年記念同期会

二期生は、今年卒業後45周年を迎え、平成23年11月17日、秋深まる八瀬で恩師マクドナル神父様、同窓会顧問東朝子先生をお迎えして同期会を開催致しました。出席者53名、アメリカからも2名が参加下さり、久しぶりの旧交をあたためました。帰天者への追悼のお祈りのあと、京料理の数々を楽しみながら、同期生の素敵な大正琴の演奏に耳を傾け、口ずさみ、賑やかなおしゃべりなど、和やかなひと時を過ごしました。

希望者は、会場のエキシブに宿泊し、翌日は、暖かい日差しの中、鮮やかな紅葉の始まった滋賀県の朽木へドライブ、本当に良い思い出になった同期会でした。

次回も、是非多くのご参加をお待ちしております。

川上春子 大塚彩子



3期 同期会

2011年9月30日、菊乃井本店に30名が集いました。

いろいろな事がある中に、再会できたことに乾杯をしました。雅なおもてなしを受け、それぞれ懐かしい話や近況等お話を花が咲きました。

二次会は円山公園内の長楽館でティータイムを楽しみました。次回はもっと大勢の方々が集うことを祈りながら・・・

越智恵美子 関口恵子



6期 同期会

11月11日、紅葉にはまだ少し早い京都の洛北の地、八瀬のエキシブ八瀬離宮で6期生の同期会を開催いたしました。最近はお親や身内の介護、また孫の世話などに忙しい年齢になって、中々同期会に参加出来ない方々が増えてきました。今回は18名の参加で少し寂しい同期会となりましたが、ダンスの先生の華麗な舞いをはじめ飛び入りの手品も登場、くじ引きでは素敵な商品も！！思い出やこれからの生活のお話などに花が咲き、あっという間に時間が過ぎました。今年は大学の創立50周年という記念の年でもあります。12月10日には記念式典をはじめ、記念のホームカミングデーの開催など、この報告が会報「マリアン」に掲載される頃には式典での様子も拝見できると思います。

末記になりましたが、同期会開催に当たって、同窓会の本部の皆様にはお世話になり有難うございました御礼申し上げます。

2011年度担当 平篤美、丹羽章栄、三島眞紀子



12期 35周年の同期会

卒後35周年の同期会は2011年5月22日(日) 同窓会終了後グランドプリンスホテル京都「バー・アスコット」にて14名が集いました。35年という時の流れを感じることなく、皆で過ごしたひとときは心を和ませるものとなりました。そして今回は関東地方でご本人やご家族が経験された東日本大震災当日の話を聞かせていただくこともできました。

有事の際、どのように悔いなく行動すべきかをもう一度考え直さなければならぬ事も多々あり、とても貴重な時間を持つことができました。

角明子 山田恵子



おめでとう! 山田恵子さん (12E)

ヒューストン国際キルトフェスティバル
2011.11.2 Innovated Pieces 部門 第1位

この作品は次男の中学の美術の作品を見てそれを布で表現してみようと思い始めましたが完成するのに2年半かかりました。

同期会への補助

学年同期会を開催される場合、同窓会本部より補助があります。

- * 同期生の名簿のコピーと住所シールの提供
 - * 通信費の実費 (上限2万円まで。但し実費の補助は2年に一度以内に限りです。)
- 詳細はマリアンハウスまでお問い合わせ下さい。

30期卒 美学五十嵐ゼミ集いの報告



平成23年3月23日(水)、五十嵐節子先生のご退職にあたって、美学ゼミ30期生により33年間勤めてこられた先生に感謝の気持ちをこめてささやかな集いを致しました。

大学近くの『乃し』で懐石料理をいただきながら17年ぶりの再会で話は弾みました。二次会は大学内にある『フレンドシップハウス』でケーキとお茶をいただきました。ユージニア館が新しく建てかわる前に来ることができて皆感激致しました。一瞬にして学生時代にタイムスリップしたような感覚でした。今回集まったのを機に「これからも集まろうね!」と約束しました。次回が楽しみです。

矢島尚代



NDおあしす

週末黙想の案内

本学名誉教授 初代同窓会顧問 シスターセリーン松本

唐崎修道院の食堂、聖堂から一望できる琵琶湖は、ガリラヤ湖を思わせます。光、風、雲の一瞬ごとの動きによって容姿を変える四季折々の湖の風情は、神の創造の美しさそのものを映しています。そんな場所で、日常の雑事を離れて心身の疲れをやすめ、エネルギーを回復するために、修道院が企画している憩いの集いをご利用くださるようご案内いたします。下記のように、週末黙想(金曜日夜食6時から日曜日昼食まで)という2泊3日の集まりですが、日程中の一泊、または、日帰りでもかまいません。どなたでもご自由に参加してください。

2月 3日(金)～5日(日) 7月 13日(金)～15日(日)
4月 27日(金)～29日(日) 9月 21日(金)～23日(日)
5月 18日(金)～20日(日) 11月 23日(金)～25日(日)
6月 15日(金)～17日(日)

参加を希望される方は次のいずれかの方法でご一報下さい。お待ちしております

〒520-0106 大津市唐崎1丁目3-1

ノートルダム修道院 Sr.セリーン 松本

Tel: 077-579-2884 Fax: 077-579-3804

Mail: celine-matsu@mbp.nifty.com (件名は黙想会)

東北震災報告

「3・11の記憶」

片桐亜希 (44H)

東日本大震災が起きた3月11日。時刻14:46分一生忘れもしないあの日。

マグニチュード9.0の大震災により、沢山の人々が命を落とした。あの3分間に渡る長い揺れに続き大津波が沢山の家々をのみ込み沢山の犠牲をだすなんて想像もしていなかった。

私が住んでいる宮城県仙台市も震度6強の地震が長く続いていた。あの日は季節外れのとても寒い日で、地震直後は雪が降っていた。携帯も使えない。ライフラインもすべて機能しない。家族は無事なのか？友達は無事なのか？誰とも連絡がとれない状況で無我夢中で4時間かけて勤務先から家まで歩いた。家の近くに川が流れているのだが家に近づくにつれ道路が泥まみれになっており水のようなものが引いた後であった。家に帰るまで、泥まみれになりながら帰った。疲れ果てて帰ると家の中はめちゃくちゃになっていた。寒い夜を迎え、ヘリコプターの音、サイレンの音、救助に向かう音が鳴り響く。そしてとめどなく余震が繰り返えされ、津波警報が鳴る。そのたびに恐怖が襲う。「この先どうなるのだろう」何度も何度もそう思った。

父は小学校で働いている。地震の時、津波が小学校までやってきた。首までつかりながら子供達を誘導した。ある人は松の木に登って一生を得て、ある人は津波に流されたが奇跡的に生還を得たという事が父の周りでは起こっていた。幸い子供達はみな無事であり、次の日、自衛隊に救助された。また私の祖母が住んでいる宮城県気仙沼市は多大な被害が被った場所である。震災前は屈指の港町と言われてきた気仙沼市。だが今や跡形もなくなっている。私の叔母が住んでいる鹿折（ししおり）地区は、津波と津波で流された巨大石油タンカーが同時に流れ家々に引火し、鹿折（ししおり）地区一帯は一面焼け野原になっていた。祖母は若い人におんぶされ、高台に避難したため無事であった。

現在も余震は続き、不安な日は続いている。そして父の小学校は使われていない。中学校の教室を使って授業が行われ祖母も仮設住宅で暮らしている。家族が無事ということがどんなに幸せなことか何度も感じた。この記憶を忘れはしない。それとともに、亡くなれた方々のご冥福をお祈り致します。

(平成23年12月4日記)

東北地区同窓会 設立へ！

東北地区同窓会設立に向けて

東日本大震災を受けて、東北地区同窓会設立案が会長から提案された。

2011年8月10日仙台在住の同窓生27名へ、震災のお見舞いと地区同窓会設立へのご協力の下さるよう依頼状を送った。約半数の方たちより設立への協力を快諾していただき、幹事長に16期松田みどりさん、世話役に25期室井夢美子さん、44期片岡亜紀さんが決まった。

2012年の地区同窓会開催に向けて、東北地区在住の同窓生全員に案内状発送など活動を開始している。

※地区同窓会は第1回地区会の開催実績をもって正式に設立といたします。

京都ノートルダム女子大学の同窓生の皆様、

初めまして。初登場！の東北地区同窓会です！

昨年3月11日の「東日本大震災」以後 日本人の誰もが強く意識するようになり、2011年の漢字にもなった「絆」。

その絆の一つを新たな形にしたい、という願いのもと、東北地区同窓会が誕生することになりました。

ND女子大で学び授かった「絆」を震災をきっかけとして、結びなおしていきたいと思っています。

第1回東北地区同窓会を、仙台市内にて5月末に開催の予定です。

東北にお住まいの方にはお葉書で詳細をお伝えする予定です。

遠方等でご出席が難しい方も是非 近況をお知らせ下さいますようお願い致します。

立ち上げへと導いて下さいました中井会長様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



世話役 松田みどり (村山) (16E)
室井夢美子 (吉田) (25E)
片桐 亜季 (44H)

クラスアクティビティーのご案内

ク ラ ス	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英 会 話	シスター モリー	基本文型の口頭練習、持参記事の発表・ディスカッションレベルに関係なく、楽しいシスターとのレッスンです。	ユニソン会館3階小会議室 第2・第4月曜日10:30~12:00	中元可津美(18E) 清水 好美(18E)
書 道	寺田 九絲	漢字は三體(さんたい)千字文、かなは梅雪かな帖等をけいこする。	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00	竹内ルリコ(17C)
フランス語	阿部 哲三	阿部先生創作「夢の交響曲」第四楽章(フランス語作品)の講読とフランス語による「箴言」の構文完成演習並びに解説を中心に学習しています。	マリアンハウス 第1・第3月曜日10:30~12:30	伊達 佐和(17E) 陀安 玲子(28E)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほぐし、聖歌、季節や時の歌で心を豊かにする。	ユニソン会館B1音楽練習室 第3木曜日 10:00~12:00	岩田真理子(12C) 前田 元子(12E)
英語で 書こう会	シスター セリン松本	ほのぼのとした物語をもとにニュアンスの伝わる英語で書いてみます。また、役立つ日常表現を勉強します。	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00	滝田 洋子(17E) 宮澤 紀恵(19E)
NDおあしす 京 都	シスター セリン松本	聖書の一節を読んで味わって、心に残ることを自由に話し合い、互いの思いを受けとめ合う場です。	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00	芝山陽子(5E)
NDおあしす 中 部 支 部	シスター セリン松本	「心のおあしす」を見つけましょう。シスターのお話と仲間との語らいの中で。	安保ホール 第2金曜日11:00~13:00	桑原衣里(25E)

※ 各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)または2,500円(5回/学期)

※ 各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

サ ー ク ル	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英 語 で 書こう会	シスター セリン松本	日本語の発想から英語の発想へ。書くことによって少しでも身に付けられたい。 (参加費 1回 1,000円)	マリアンハウス 第2水曜日 10:30~12:00	中田記美江(7E)
ヨ ガ	新井 千春	心にも体にも優しいヨガレッスンです。 定員10名程度 参加費1回2,000円 半年間の登録制 以後更新(欠席の場合も返還なし) 若干名単発でも参加可能	マリアンハウス 第3金曜日12:30~14:00 (先生の都合で他の金曜になる可能性有り)	稲田 蘭貴(23C) 北谷貴代子(23C)
手 芸 ボ ラ ン テ ィ ア		総会や秋のバザーにむけ手芸品を制作してその売り上げを寄付に。	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00	小林 京子(17E)

日本文化研究会へのお誘い

本来、日本文化は間口の広い底の知れない深いものです。今年度は歴史、建築、仏教、食にスポットを当て日本文化に迫っていきたくと考えています。それに加え、体験も楽しんで頂きたいと計画致しております。お誘い合わせの上ご参集下さい。会員登録受け付け中です。

日本文化研究会 24年度 年間予定

- 6月27日(水)神戸市 平清盛ゆかりの兵庫津(歴史探訪)
- 9月26日(水)池田市 逸翁美術館(建築探訪)
- 11月7日(水)宇治市 黄檗山万福寺 普茶料理(仏教文化)
- 1月23日(水)京都市上京区 萬亀楼 有職料理についてお話(食文化)
- 3月27日(水)京都市東山区 藤平陶芸(絵付け体験)

- ・予定が変更になる場合があります。
- ・登録会費1年間 1,000円

世話役

長谷川るり子(4E)
鎌田 玲子(4E)
園井 万起子(10E)



大徳寺芳春院での茶会后
住職様の講和 平成23年

⑨ 平成25年2月22日(金)、3月18日(月)は大学入試のため、マリアンハウスは休館致しますのでご注意ください。

マリアンハウス運営委員会から

平成23年度 マリアンハウスチャリティバザーのご報告・文化プログラムご案内

毎年恒例となりました、マリアンハウスチャリティーバザーが、今年度は大学内マリア館ガイスラーホールにてND祭と同日開催されました。今年度のバザーは、3月11日の東北大震災で被災された方々の少しでも力になればという思いから、復興を支援するバザーとさせていただきます。大学祭と同日に行われたということも手伝って、例年の倍以上のお客様にご来場いただきました。新マリアンハウスお披露目会でのミニバザーと合わせると約40万円の収益をあげることができました。全て、震災の復興に役立てていただく寄付金とさせていただきます。

マリア館エントランスでは、園芸用品、手作り品、また、芦屋グレースさんによるアクセサリや雑貨、たくさんの華やかな商品が並びました。ホール入口廊下には、このたびお別れすることになりました岩倉マリアンハウスの歴史、そこで行われました文化プログラムの数々の紹介を展示いたしました。ホールでは、手芸ボランティアによる手芸品の販売や、手作りケーキなどの食品の販売、そして手作りケーキと飲み物による喫茶スペースを設け、皆様にくつろいでいただきました。お昼には、マリアンコーラスによる合唱が行われ、花を添えていただきました。本当にたくさんの方々にご来場いただき、大変楽しいにぎやかな時間でした。皆様のご来場、誠にありがとうございました。

さて、同窓会館マリアンハウスは12月に思い出のいっばいつまった岩倉から、大学内キャロライン館に引っ越しを終え、新たに活動をスタートいたしました。24年度もよりすぐりの楽しい文化プログラムを用意いたしました。交通の便もたいへんよくなりました新マリアンハウスに、どうぞ皆様お運びいただきますようよろしくお願いいたします。



平成24年度マリアンハウス文化プログラム

月 日	時 間	内 容
平成24年 6月27日(水)	10:30 ~ 12:30	「ソフトファニッシング」 講師：松山仁美先生 イタリアやフランスから直輸入のタッセルやファブリックを使って、美しく使いやすいインテリアアクセサリを作ります。
7月25日(水)	10:30 ~ 12:30	講演「右脳と左脳を使って健康的に生きよう」 講師：山田秀子先生
9月26日(水)	10:30 ~ 12:30	バザー作品作り（ご一緒に作品作りを楽しみましょう）
10月28日(日)	10:30 ~ 14:30	チャリティバザー たくさんの寄贈品をお送りくださいますようよろしくお願いいたします。
11月28日(水)	10:30 ~ 12:30	「世界に一つだけの自分だけの香水」 講師：辻大介先生 天然香料を用いて自分だけの「香り」を調合し、その「香り」で自分の潜在能力を引き出すことができます。
平成25年 3月27日(水)	10:30 ~ 12:30	「ブリザーブドフラワーアレンジメント」 講師：北村香代子先生 生花に特殊加工を施したブリザーブドフラワーを使って素敵なアレンジを作りましょう。
4月24日(水)	10:30 ~ 12:30	「人気の献立を作って食べよう」 講師：三宅良成先生 海老天ぷらを曲がらず揚げるコツ、失敗しない茶碗蒸し、ひと工夫ある炊き込みご飯など、プロよりご伝授いただきます。

※諸般の事情により日程の変更があります。※文化プログラムは卒業生の方のご紹介であればどなたでもご参加いただけます。お友達をお誘いの上、たくさんご参加ください。

マリアンハウススタッフ 山田恵子(12E) 辻文江(12E) 森本純子(14E) 西別府満喜子(14C) 稲田蘭貴(23C)
北村香代子(23E) 北谷貴代子(23C)

※マリアンハウススタッフを募集中！月1度の文化プログラムの企画・バザーの企画運営など楽しんでご参加いただけたと思います。ぜひ、ご一緒に活動いたしましょう。

寄贈品送り先・文化プログラム申し込み・その他連絡先

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学キャロライン館1階
同窓会館 マリアンハウス

Tel&Fax 075-701-9149 Email: nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp (月・水・金 10:00より3:00)

大学便り

いよいよ 北山キャンパスが生まれ変わります!!!

京都ノートルダム女子大学は平成23年12月8日に創立50周年を迎え、創立記念式典等も無事終了することができました。（当日の行事の様子は大学ホームページをご参照ください）

これも物心共に大学を支えていただいている同窓生の皆様のおかげと心よりお礼申し上げます。

現在、大学は創立50周年を記念して北山キャンパス総合整備計画に取り組んでいます。

はじめに京都工芸繊維大学内にノートルダム館を建設し、平成23年度からは2つのキャンパスで授業を行なっています。昨年11月には学生寮とマリアンハウスの機能を備えた複合施設キャロライン館が完成しました。こうして準備が整い、いよいよ今年5月からユージニア館（本館）の北側校舎を取り壊し、新ユージニア館（仮称）の建設が始まります。平成25年秋頃に新ユージニア館が完成し、図書館機能の移転が終了した後にソフィア館を改修して事務室と教室を配置する予定です。更に別館、テレジア館、ユニソン会館の一部改修工事が終了すれば、最後にユージニア館南側校舎を取り壊し、外構工事が完了し新キャンパスが美しく整うのは平成26年秋の予定です。

この間、騒音や駐車場の不足など様々なご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



キャロライン館（平成23年11月完成）

【ホームカミングデー】

平成24年10月27日（土）・28日（日）にND祭（大学祭）を行ないます。

学生が模擬店やクラブ発表を行ないますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひ大学にお越しください。

28日には【ホームカミングデー】として、お茶とお菓子を準備してお待ちしています。学生時代に戻って大いにおしゃべりをお楽しみください。

日時：平成24年10月28日（日）10：30～14：30 <予定>

場所：京都ノートルダム女子大学 キャロライン館 アセンブリホール（予定）

【卒業式】

平成13年度より卒業年度毎に同窓生の皆様を卒業式にお招きしています。巣立ち行く後輩を共に祝福していただき、式典終了後には昼食をご用意しておりますので、懐かしいご学友と楽しいひと時をお過ごしいただければ幸いです。

日時：平成25年3月9日（土）10：00～

場所：京都ノートルダム女子大学 ユニソン会館 アリーナ

*招待学年は26期生、27期生、28期生

日本学生支援機構（旧：日本育英会）奨学金の返還について（お願い）

本学の在学中に貸与を受けられた奨学金は、必ず返還する義務があります。

この返還金は、直ちに後輩の奨学金として貸与する仕組みとなっており、返還が円滑に行われないと、後輩の奨学金貸与に重大な支障を来すことになります。

日本学生支援機構の奨学金制度は、一人ひとりが奨学生としての責任を果たすことによりはじめて成り立つ制度です。約定どおりの奨学金返還をお願いいたします。

京都ノートルダム女子大学 学生部長 小川 光

総会へのお誘い

絆を深めましょう！

平成24年 第48回総会のお知らせ

日 時：平成24年5月27日(日) 午前11時30分(受付11時00分～)

場 所：グランドプリンスホテル京都「ロイヤルルーム」

(旧 京都宝ヶ池プリンスホテル) Tel 075-712-1111

地下鉄「国際会館」下車

会 費：6,000円 子供(小学6年生以下)1,500円

エンターテインメント「京都学生アカペラサークル Crazy Clef」

☆ 欠席の場合でも返信ハガキを投函下さい。

エンターテインメント担当学年より

今年度総会には、京都学生アカペラサークル Crazy Clef から二組をお招きいたします。

人間の声の素晴らしさ、若さあふれるステージをお楽しみいただければと思います。

ぜひお誘い合わせの上お越しいただき、共に楽しい時を過ごして、同窓生の絆を確かめ合ひましょう。

18期学年委員 荒井友紀子 萩原道子



KusKus：青木翔太 梶山言葉
佐藤創平 土田佳苗
男女4人でJAZZなどの大人な曲を
歌っています。



kewpie：小山詩織 酒見真太 橋本真幸
松見智香子 美間真之介 山岡翔
主にアメリカのプロコーラスグループThe
Manhattan Transferのコピー・アレンジをして
いるJAZZバンドです！

こんにちは！京都アカペラサークル CrazyClef です！私たちは京都大学を中心に活動しているアカペラサークルです。アカペラといっても、4～6人のバンドで演奏するコンテンプラリーなスタイルを中心に、ジャンルを問わずさまざまなアカペラを楽しんでいます。本日はサークルからkewpie と KusKLus という JAZZ を歌う2バンドが出演し、皆様にアカペラをお聞きいただきます。私達の歌声で、少しでもアカペラというものに興味を持っていただければ幸いです。

11 期同期会

日時：2012年6月10日(日)

場所：南禅寺 順正

ご参加をお待ちしています。後日ご案内状をお送り致します。

太田美由紀(石井) 峯松伴美(田中)

13 期 35 周年同期会

総会終了後引き続きグランドプリンスホテル京都
にて同期会を行います。多数のご参加をお待ちしています。

山形昌子 澤田和子

予告 平成25年第49回総会は5月19日(日)です。

祝周年学年の皆様

おめでとうございます。

総会でバラの花が贈呈されます。

是非ご出席下さい。

3期生 45 周年

8期生 40 周年

13期生 35 周年

18期生 30 周年

23期生 25 周年

28期生 20 周年

33期生 15 周年

38期生 10 周年

43期生 5 周年

編集後記

42号会報マリアンは母校創立50周年、新しい学舎キャロライン館竣工式、同窓会館マリアンハウスの引越しと盛りだくさんの内容となりました。昨年12月、馴れ親しんだ岩倉幡枝から大学構内のキャロライン館1階に同窓会館マリアンハウスは移りました。新しいマリアンハウスで気持ちも新たにより良い、より活発な同窓会になるよう励んでおります。会員皆様のご意見、ご要望など是非お聞かせ下さい。

42号発行にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

高木里美 (3E) 家村悦子 (4E)

会 員 数：1万3千4百余名

支 部：関東、中部

地 区：北陸、和歌山、中国・四国、山陽、山陰、九州・沖縄

☆ 同窓会活動情報は同窓会ホームページで！

検索：京都ノートルダム女子大学同窓会

または大学HPアドレス：<http://www.notredame.ac.jp/> から

☆ ‘大学の今’は大学報 Renouveau^{ルヌヴォー}で！

年間4回発行され、大学のホームページでご覧になれます。



マリアンハウス使用規定

①使用できる人

- ・ 京都ノートルダム女子大学・大学院同窓生
- ・ 京都ノートルダム女子大学・大学院在校生
- ・ 京都ノートルダム女子大学・大学院教職員
- ・ ノートルダム女学院小中高の同窓会(本部として)

②使用できる日時

月・水・金 10:00～15:00

(但し、上記以外でも相談の上、使用可)

③年間休館日

○夏休み 8/ 1～8/31

○冬休み 12/20～1/10

○大学行事のため入構不可となる日(入試日等)

④使用料(冷暖房費込み、台所使用可)

マリアンハウス 使 用 料	ホール	3,000円
	和室(10畳)	1,500円
	洋室(7畳)	1,500円
	使用時間：10：00～15：00 宿泊は不可	

⑤申込方法

2週間前までにマリアンハウスにFax又はEメールでお申込下さい。

Fax.075-701-9149

Email : nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

※駐車場が限られていますので、公共の交通機関でお越し下さい。

多くの同窓生がマリアンハウスを訪れ、利用して下さいますようお願いいたしております。



ホール



和室



洋室

京都ノートルダム女子大学 同窓会会報 マリアンvol42

2012年4月1日発行/京都ノートルダム女子大学同窓会

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学 同窓会館マリアンハウス

Tel./Fax.075-701-9149 Email:nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

表紙題字 シスターセリーヌ松本 印刷/ミナトメイワ印刷株式会社